

## 那須塩原市のバランスシート(普通会計)

借 方			
項目	平成17年度末	1年間での増減	
資産の部	<b>有形固定資産</b>	1,356億9,866万円	△18億8,441万円
	(うち土地)	(483億 693万円)	(+8億4,608万円)
	1 総務費	88億3,115万円	△ 2億 129万円
	2 民生費	52億 374万円	△ 1億6,549万円
	3 衛生費	78億2,184万円	△ 6億9,488万円
	4 労働費	1,989万円	△ 98万円
	5 農林水産業費	81億1,302万円	△ 5億3,780万円
	6 商工費	39億7,217万円	+ 3,715万円
	7 土木費	636億5,935万円	△ 1億1,537万円
	8 消防費	10億2,920万円	△ 9,275万円
	9 教育費	369億9,980万円	△ 1億1,170万円
	10 その他	4,850万円	△ 130万円
	<b>投資等</b>	102億 700万円	△ 4億4,972万円
	1 投資及び出資金	10億6,180万円	△ 1,325万円
	2 貸付金	881万円	△ 544万円
3 基金	75億3,425万円	△ 2億6,597万円	
① 特定目的基金	70億4,757万円	△ 2億7,102万円	
② 土地開発基金	3億 7万円	+ 5万円	
③ 定額運用基金	1億8,661万円	+ 500万円	
4 退職手当組合積立金	16億 214万円	△ 1億6,506万円	
<b>流動資産</b>	66億6,324万円	+ 8億5,661万円	
1 現金・預金	39億2,794万円	+ 8億3,097万円	
① 財政調整基金	13億4,784万円	+ 2億 20万円	
② 減債基金	8億9,270万円	+ 5億 6万円	
③ 歳計現金	16億8,740万円	+ 1億3,071万円	
2 未収金	27億3,530万円	+ 2,564万円	
① 地方税	26億9,342万円	+ 1,328万円	
② その他	4,188万円	+ 1,236万円	
<b>資産合計</b>	1,525億6,890万円	△14億7,752万円	

貸 方			
項目	平成17年度末	1年間での増減	
負債の部	<b>固定負債</b>	422億4,670万円	△12億6,495万円
	1 市債	363億6,547万円	△13億4,462万円
	2 債務負担行為	—	—
	① 物件の購入等	—	—
	② 債務保証又は損失補償	—	—
	3 退職給与引当金	58億8,123万円	+ 7,967万円
	<b>流動負債</b>	44億3,545万円	+ 4億1,732万円
	1 翌年度償還予定額	44億3,545万円	+ 4億1,732万円
	2 翌年度繰上充用金	—	—
	<b>負債合計</b>	466億8,215万円	△ 8億4,763万円
正味資産の部	<b>国庫支出金</b>	137億2,019万円	+ 1億3,417万円
	<b>県支出金</b>	88億8,861万円	+ 3億 674万円
	<b>一般財源等(市税など)</b>	832億7,795万円	△10億7,080万円
	<b>正味資産合計</b>	1,058億8,675万円	△ 6億2,989万円
<b>負債・正味資産合計</b>	1,525億6,890万円	△14億7,752万円	

## ■ バランスシートについて

### ○ バランスシートとは？

バランスシートとは、那須塩原市が持っている土地や建物、道路などの財産（資産）と、その財産を持つために使ったお金の調達方法（負債・正味資産）との年度末時点での残高を左右に表示したものです。資産を示す左の表の合計額と、負債・正味資産を示す右の表の合計額は同額で、常にバランスのとれた状態となることからバランスシートと呼ばれます。

### ○ バランスシートの対象となるもの

バランスシートの左側「借方」に計上される資産は、「一会計年度を越える」もので、「地方公共団体の経営資源として用いられる」ものです。よって、土地や建物、道路など長期間に渡り行政サービスを提供するための財産は計上されますが、一会計年度内に消費されてなくなってしまう役務的な行政サービスや、それに係る事務用品、その他各種補助金などへの支出額は、バランスシートの資産としては計上されません。

### ○ バランスシート用語の説明

- (1) 有形固定資産・・・土地や建物、道路などの財産（資産）＝社会資本整備の状況を財産面から示します。
- (2) 投資等・・・・・・財団法人に対する出資金や市の基金などを示します。
- (3) 流動資産・・・・・・年度間の調整財源である「財政調整基金」や「減債基金」、市の債権（市税の未収金など）を示します。
- (4) 固定負債・・・・・・一年以内に償還期限の到来するものを除いた市債残高や将来の職員退職手当（負担金）などを示します。
- (5) 流動負債・・・・・・一年以内に償還期限の到来する市債残高などを示します。
- (6) 正味資産・・・・・・財産（資産）を持つために使ったお金の調達方法のうち、国庫支出金や県支出金、一般財源等を示します。

### ○ バランスシートの作成基準

バランスシートの作成にあたっては、総務省が示した作成基準に基づいて作成しています。主な作成基準は以下のとおりです。

- (1) 普通会計対象（一般会計＋公共用地先行取得事業特別会計＋墓地事業特別会計）
- (2) 取得原価主義（支出額）により資産額を計上し、有形固定資産のうち土地を除いた部分については、国の基準に基づいた年数で減価償却。
- (3) 決算統計データを使用（有形固定資産＝普通建設事業費（工事設計委託、工事費、用地取得費、補償費）し、資産形成に向けられた支出額を算出。
- (4) 流動・固定の区別は一年基準（バランスシート基準日の翌日から一年以内の入金や支払い期限の到来するものを流動資産または流動負債とし、それ以外を固定資産、固定負債とする。）による。

- (5) バランスシート作成基準日：会計年度末（3月31日）。出納整理期間中の収入や支払いは、3月31日までに終了したものとして処理。

## ■ バランスシートから分かること

### (1) 資産の経年比較による資産状況

バランスシートの資産を経年比較することで、那須塩原市の財産が比較年度間でどの程度増えた（減った）のかを示します。市の行政活動は、資産形成につながるもの（土地、建物、道路の建設など）とそうでないもの（人的サービス、給付サービスなど）に分類され、資産形成につながるものをバランスシートに計上しますので、資産の増減から、比較年度における社会資本整備への力の入れ具合を見ることができます。

### (2) 社会資本整備の世代間負担比率

バランスシートは、左側で那須塩原市が持っている財産（資産）を示し、右側でその財産を持つために使ったお金の調達方法を示しています。

その調達方法のうち、正味資産に着目すれば、社会資本整備の結果を示す有形固定資産について、国庫支出金や県支出金、市税などによりこれまでの世代が既に負担した分の割合を見ることが出来ます。

また、負債に着目すれば、将来返済しなければならない分＝将来世代への負担割合を見ることが出来ます。

将来世代への負担を考えた場合、正味資産の割合が高いほうが財政的な安定性が高いとも考えられます。ただし、有形固定資産が示す社会資本は長期間にわたり住民に利用されるものであり、負担の公平性の観点についても考える必要があります。

### (3) 社会資本整備における国庫（県）支出金比率

上記（1）で述べたとおり、正味資産に着目すれば、社会資本整備の結果を示す有形固定資産について、国庫支出金や県支出金、市税などによりこれまでの世代が既に負担した分の割合を見ることが出来ます。その中で、国庫支出金や県支出金に着目すると、これまでの社会資本整備を行うにあたりどの程度国や県の補助制度を活用してきたかの割合を見ることが出来ます。

### (4) 社会資本整備の行政目的別比率

バランスシートの項目のうち、社会資本整備の結果を示す有形固定資産は、行政目的別（議会費、総務費、…）に計上されています。これまでどんな分野に力を入れてきたのかが明確となり、那須塩原市の財産形成の特徴を見ることが出来ます。

また、他の自治体との比較などにより①整備が不足しており今後の資産形成が必要な分野や②十分な資産があり、今後は資産の維持程度が適当な分野など今後の財政運営や資産整備の方向性を検討する際の参考指標として役立てられます。

今後は、「経年比較」を行うことで、この一年間どんな分野に重点を置いたのかや、

その結果としてどんな財産が増えた（減った）のかや、今年度策定の総合計画の執行を財産面から捉えることが可能となります。

#### (5) 借入金残高の状況

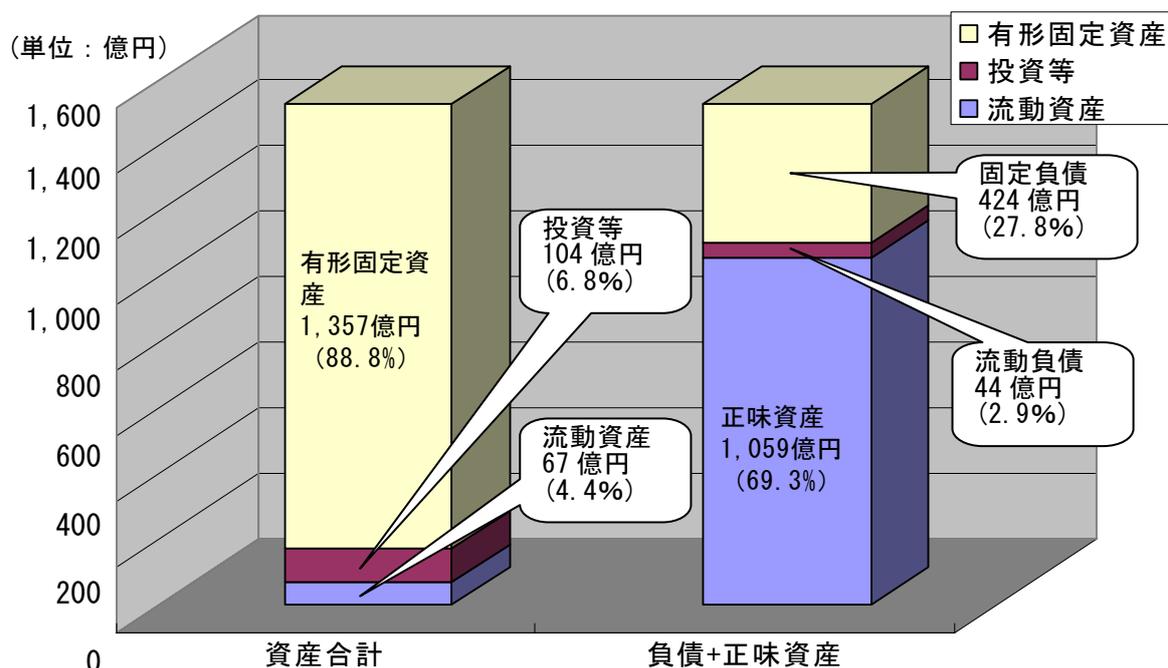
普通会計における借入金の年度末残高が分かります。

(「固定負債」項目「地方債」＋「流動負債」項目「翌年度償還予定額」)

## ■那須塩原市のバランスシート分析

### (1) 今年度バランスシートの状況

(図1)



那須塩原市が持っている資産の総額は1,527億円で、内訳は土地や建物、道路などの「有形固定資産」が1,357億円、出資金や基金などの「投資等」が104億円、財政調整基金や減債基金、現金、市の債権（市税の未収金）などの「流動資産」が67億円となっています。

「資産」のほとんどは、「有形固定資産」で占められており、その資産形成における資金調達については、これまでの世代による負担である「正味資産」によるものが約70%、将来の世代の負担による「負債」によるものが30%となっています。

### (2) 前年度バランスシートとの比較

前年度のバランスシートとの比較により、資産、負債及び正味資産の状況やその増減要因などを分析することが出来ます。

#### ①全体の状況

那須塩原市の資産は、平成17年度末で1,527億円（前年度比△13億円）となり

ました。一方、負債は468億円（前年度比△7億円）となり、資産と負債の差である正味資産は1,059億円となりました。

②資産の状況

平成17年度末の市の資産は1,527億円で、前年に比べ13億円減少しています。

資産の内訳では、「有形固定資産」が1,357億円（前年度1,376億円）で前年度から19億円減少しています。

これは、平成17年度に新たに財産を形成するために行った支出額よりも、これまでに形成してきた資産の減価償却費の金額が上回ったためで、市の行う建設事業を抑制したことを示しています。

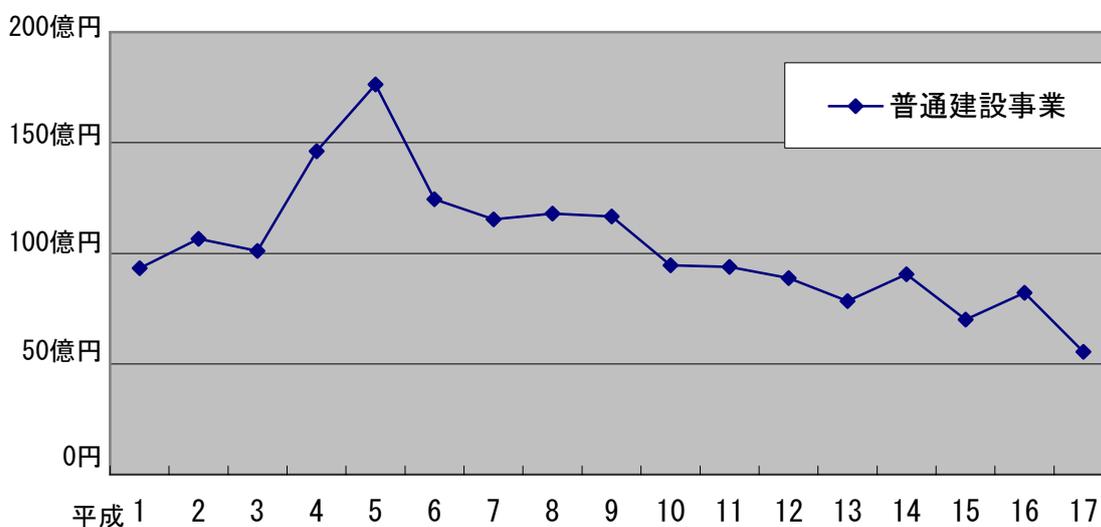
(図2)

(単位：千円)

	前年度末の有形固定資産の状況	新たな有形固定資産の形成	減価償却費	今年度増減	今年度末の有形固定資産の状況
総務費	9,032,440	50,612	△ 251,904	△ 201,292	8,831,148
民生費	5,369,227	91,063	△ 256,545	△ 165,482	5,203,745
衛生費	8,516,724	1,944	△ 656,116	△ 654,172	7,862,552
労働費	20,869	0	△ 979	△ 979	19,890
農林費	8,650,823	138,389	△ 668,883	△ 530,494	8,120,329
商工費	3,935,018	274,001	△ 236,849	37,152	3,972,170
土木費	63,774,720	2,277,364	△ 2,392,738	△ 115,374	63,659,346
消防費	1,121,951	64,725	△ 157,479	△ 92,754	1,029,197
教育費	37,111,503	822,898	△ 934,598	△ 111,700	36,999,803
その他	49,797		△ 1,297	△ 1,297	48,500
計	137,583,072	3,720,996	△ 5,557,388	△ 1,836,392	135,746,680

(図3)

普通建設事業費の推移



なお、平成17年度の主な新たな財産形成は以下のとおりです。

- ・ 商工費：湯っ歩の里 2.6億円
- ・ 土木費：那須塩原駅土地区画整理 4.7億円
- 3・4・1本郷通り道路改良 3.2億円
- 3・4・2中央通り道路改良 1.9億円
- ・ 教育費：体験学習施設整備 2.5億円
- 東那須野公民館改築 2.6億円

また、「投資等」の減少の内訳を見ると、「総合排水対策基金」や「庁舎増改築基金」などを取崩して事業に充てたため、3億円基金が減少しました。

「流動資産」の増加の内訳をみると、財政調整基金と減債基金に7億円の積立を行ったため増加となりました。

### ③負債の状況

平成17年度の負債の状況は、7億円の減となりました。

負債のうち翌々年以降に返済が必要な借入金である「固定負債」の「地方債」は364億円で、前年度と比べると13億円減少しています。これは、平成17年度の投資的経費が抑制されたことから、その財源としての地方債の発行額も抑制されたためです。

また、「流動負債」は前年度から4億円増え、44億円になりました。これは、平成16年度に借入した合併特例債29億円の元金返済が平成18年度から始まることによるものです。

### ④正味資産の状況

「正味資産」は、これまで資産の形成のために調達された資金のうち、将来の返済が必要ないものを示しています。

平成17年度の正味資産は、1,059億円で、前年度に比べると6億円減少しました。正味資産のうち国や県からの補助金によるものは、4億円増加しましたが、一般財源等が10億円減少しました。

(図4)



### (3) 社会資本整備の世代間負担比率

#### ①正味資産割合

$$\frac{\text{正味資産合計}}{\text{有形固定資産合計}} = (\text{これまでの世代による}) \text{社会資本の負担比率}$$

#### 【県内の状況】

那須塩原市	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市
78.0%	79.5%	78.9%	69.4%	—	78.7%
日光市	今市市	小山市	真岡市	大田原市	矢板市
—	71.3%	68.9%	75.3%	78.3%	—

正味資産の構成割合は78.0%で、比較的高い水準にあることから、財務の安定性は比較的高いといえます。

#### ②負債による資産割合

$$\frac{\text{負債合計}}{\text{有形固定資産合計}} = (\text{将来の世代による}) \text{社会資本の負担比率}$$

#### 【県内の状況】

那須塩原市	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市
34.5%	29.4%	31.1%	39.9%	—	28.0%
日光市	今市市	小山市	真岡市	大田原市	矢板市
—	41.5%	43.5%	40.4%	30.7%	—

社会資本整備の将来世代負担率は、34.5%となり、概ね平均的な水準となっています。将来世代への負担を平均的な水準に抑えながら資産形成を行ってきたといえます。

### (4) 社会資本整備における国庫（県）支出金比率

	那須塩原	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市
国（県）	38.7%	32.7%	39.7%	46.6%	—	23.8%
一般財源	61.3%	67.3%	60.3%	53.4%	—	76.2%
	日光市	今市市	小山市	真岡市	大田原市	矢板市
国（県）	—	46.5%	51.2%	47.3%	39.0%	—
一般財源	—	53.5%	48.8%	52.7%	61.0%	—

これまでの世代が負担による社会資本整備のうち国や県の補助金を活用した割合は38.7%となっています。概ね平均的な水準で活用してきたといえます。

## (5) 有形固定資産の行政目的別割合

	那須塩原市	足利市	今市市	真岡市	大田原市
総務費	6.5%	2.1%	3.0%	4.5%	20.9%
民生費	3.8%	2.4%	1.6%	1.8%	1.0%
衛生費	5.8%	5.6%	4.5%	3.5%	1.5%
労働費	0.0%	0.6%	0.0%	1.9%	0.2%
農林費	6.0%	0.8%	5.0%	3.6%	3.4%
商工費	2.9%	1.3%	1.2%	0.4%	0.7%
土木費	46.9%	57.1%	53.5%	51.4%	41.8%
消防費	0.8%	1.5%	3.4%	0.5%	0.5%
教育費	27.3%	24.1%	27.5%	30.1%	29.6%
その他	0.0%	4.5%	0.3%	2.2%	0.4%

那須塩原市の特徴として、商工費（特に観光費）、農林費の割合が高いことが分かります。市の産業の特徴を反映したものとなっています。

## (6) 市民一人当たりの行政目的別有形固定資産

(単位：円)

	那須塩原市	前年度	足利市	大田原市
総務費	76,960	79,310	29,000	250,526
民生費	45,349	47,145	33,000	12,032
衛生費	68,164	74,782	76,000	18,114
労働費	173	183	7,000	2,119
農林費	70,702	75,959	11,000	40,947
商工費	34,616	34,552	17,000	8,797
土木費	554,766	559,978	767,000	500,234
消防費	8,969	9,851	20,000	5,279
教育費	322,438	325,860	324,000	353,850
その他	423	437	61,000	5,273
合計	1,182,560	1,208,056	1,346,000	1,197,171